

8部

2016年9月卒業者
アンケートより

2016年9月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の皆さんの学習の励みにしていただけたらと思います。

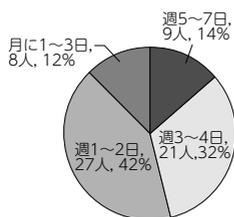
【アンケートの概要】

アンケートの回収状況は、社会福祉学科が48名、福祉心理学科が17名です(卒業生76名中65名、回収率85.5%)。本アンケートにご協力いただいた方の入学月は4月入学が10名、10月入学が55名であり、入学コースは1年次編入が18名、2年次編入が2名、3年次編入が43名、無回答2名でした。

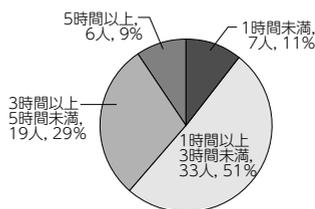
1 【学習全般について】

学習頻度や1日の学習時間、1単位分のレポート作成にかかる時間などは、下記のとおりでした。

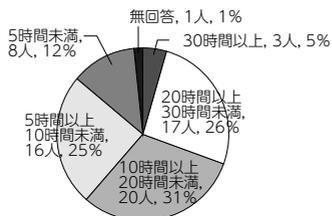
■ 学習頻度



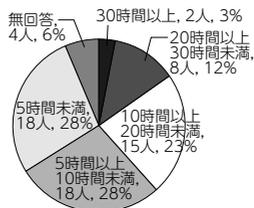
■ 1日の学習時間



■ 1単位分のレポート作成にかかる時間

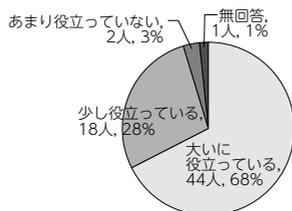


■ 1科目の科目修了試験準備に要する時間



2【本学通信教育部での学習の成果について】

■通信教育部での学習は、職場や家庭などで役立っていますか



■通信教育部での学習は、職場や家庭などで役立っていますか。理由を具体的に記入ください。

～現在の職場や、地域で役立っている～

- ・現在の職場でケースのかかえる問題解決時に役立っていると思います。
- ・介護現場において、高齢者との関わり方に影響し、気持ちを理解することに役立っています。
- ・今まで福祉の仕事に就き、慣れが出ていたと思う。そのなかで自分の中の“福祉”を再考することができた。職場で仕事をし、部下へ“福祉とは”ということ伝える時等、役立っており、通信教育部に通い良かったと思う。
- ・職場内、職場外の研修講師として心理的な側面も含めて伝えることができています。
- ・仕事が従業員の健康管理なので、心理学は役に立っています。
- ・利用者との関わり方や知識としての病気の理解ができ、職場でとまどうことが少なくなりました。

～日常生活で役立っている～

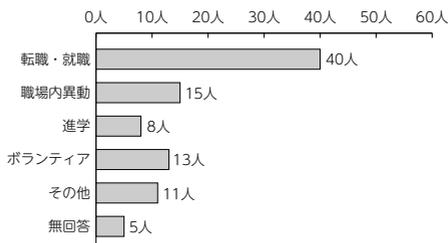
- ・まず相手の話に傾聴し、気持ちを受け止め理解しようとする態度は身についたと思う。
- ・考え方ひとつ取ってもかなり変わることができ、人との接し方、仕事のやり方などに役立っている。
- ・家族との関わり方や職場での人間関係について悩んだ時、大学で学んだ心理学の内容が解決のヒントになったり、スクーリングの講義を聴いてはっとさせられたりと、大学で学んだおかげで、自分や他人に対して優しい目で見えるようになった気がします。
- ・大学受験生である娘と一緒に学習する事でお互いの刺激になっていた。

～自身の見方・成長につながっている～

- ・社会福祉とは何か？という根本的な答えを追究しながら、知識と技術を身につけ、実践にのぞむことができた。
- ・福祉に対する理解が深まり、人間として幅が広がったと感じている。虐待や貧困など社会問題について、ただ可哀相と思うのではなく、その背景に目を向け、自分はどう思うのか考えたりするようになり、理解が深まったこと、路上生活者の人に対して、目をそむけるのではなく、どんな人生を過ごしてきたのか、などと考えるようになったこと、などの大きな変化があった。
- ・専門職としての倫理や自己覚知を知ること、自分自身を保てるようになったこと。
- ・社会福祉の歴史的な背景、時代、社会構造と人々の生活実態。時の為政者層の政策とそれに対する人々の運動……などなど、人権の発展の道筋、発展のための科学としての社会福祉の積み重ねを学べたことは、これからの社会変革・自己改革にとても力となる基礎力になりました。
- ・“チャレンジせず後悔する事ほど一生悔やむものはない”というほど前進しコミュニケーションができる。

3 【卒業後の進路について】

■通信教育部で得た資格・学んだことを今後どのようにいかしたいですか。



■学習を今後どのようにいかしたいか、具体的にご記入ください

～職場でいかしたい～

- ・各種対人援助技術を、日々のアセスメントや面接の際に頭の隅に置いておくことにより、さらなる利用者さん理解に役立てていきたい。
- ・現在は介護職なので、今後は利用者さんの総合的な支援をできるソーシャルワークの仕事を目指したいと思っています。（ご家族の支援も含めて）
- ・現在の職場（知的障害を持つ方が通う福祉施設）で実践を積んで、将来的には社会福祉士の資格がいかせる仕事に就きたいと考えています。
- ・今の仕事（消防士）にいかしていきたい。

- ・アルバイトでやっていたアパレルの販売の仕事を本職にしようと思います。人を思いやる気持ちが増えたことが大きいです。

～転職・ステップアップにいかしたい～

- ・社会福祉士としてできる仕事に転職します。
- ・相談員への転職を探しているところです。
- ・まずは国試を突破し、資格をいかす職場、職種への希望を達成したい。
- ・今後も、現職場で働きながら、スキルアップに役立てたいです。
- ・まずは社会福祉士の資格を取ることが大事だと思います。もし、合格することができたら、社福士じゃないとできない世界にいて勉強してみたいです。たとえば、海外青年協力隊とか……今しかできないことをやってみたい。

～地域・社会にいかしたい～

- ・社会福祉士の資格を取得できたならば、社会福祉士会に入会し、さらなる研鑽を通して認定社会福祉士となり、将来自宅に独立社会福祉士として相談援助専門の事務所を構え、地域貢献を図っていききたい。
- ・SWはどこにいてもできると学んだことから、例えば日常生活で、差別的な発言を耳にした時に、それは違うよ、ということ、その人に受け入れやすい言葉で伝えたい。その為に、自分自身も磨き続ける努力をしたい。
- ・私は来春定年退職を迎えます。これまでは行政の職員として、社会福祉主事として福祉の専門職として働くことができました。退職後も福祉の仕事に携わっていきたくと考えておりますが、社会福祉士の資格を取得し、これまでの経験をいかし、本物のソーシャルワーカーになることを目指します。
- ・現在、「発達障害児・者の親の会」で役員を務めさせていただいている。今まで学んできたことをいかして、親の支援ができれば良いと願っている。転職もそうだが、今は、ボランティア精神で持っている知識をいかしていききたい。

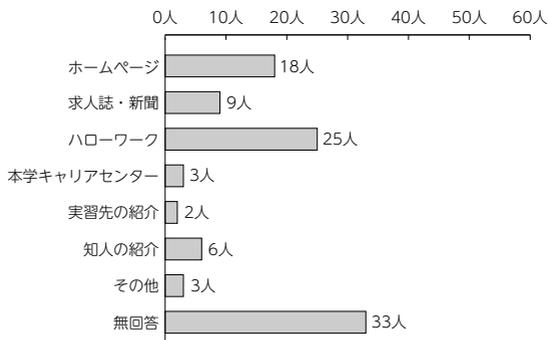
～自身の成長にいかしたい（学び続ける・大学院など）～

- ・大学院に進学し、さらに学びを深めたい。
- ・介護の職場で学んだことを、いかすのはもちろんのことですが、今後福祉（介護）には、終わりがないので、もっと勉強し、できれば大学院に進みたいと思っています。
- ・スクールソーシャルワーカーを視野に、臨床心理士養成の大学院を目指しています。臨心と社福士を併せ持つ人材が皆無の地域なので、ネットワーク作りと理論の個別化、そして実践と5カ年計画で形にしていこうと思っています。

す。

- ・学んだことをベースに、カウンセリング技術をさらに学んでいきたいと考えています。

■ 転職・就職活動を行った（行う予定の）方にお聞きます。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか（得る予定ですか）

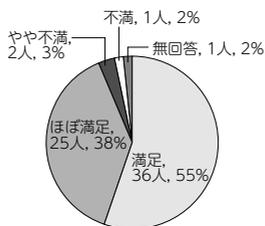


■ 転職・就職等にあって取り組まれたことを具体的にご記入ください

- ・実習先の紹介を受け、今後面接を受けようか検討中。また、求人ネットワークを活用し、新たに就活を展開していこうと検討中。
- ・職場や面接会等に積極的に参加し、担当者とお話する機会を設けて頂きました。
- ・ホームページで調べて、面接をしていただきました。内定しました。
- ・知人の社会福祉士の人や施設の見学へ行き、話を聞いている。
- ・周りの方に希望を語るようにしている他、自分でも探し、さらに通信で学び、医療福祉に広い視野で関われるよう、学びを深める、学びを続ける。

4 【通信教育部での学習について等の全体的な感想】

■ あなたは本学通信教育部で学んで満足できましたか



■本学で学んだご感想や通信教育部に対するご意見・ご要望，在学生へのメッセージ

【学びを通じての成長をお寄せいただいた声】

- ・行政の福祉の職員として働いてきて、これまで経験してきたことが、福祉の学問的な意味づけを持って自分の中に再構成されたと思います。大学で勉強する意味を再認識しました。
- ・職場でも入学前と現在の私の発言等が変化している（視点が変わってきている）、文書力が上がった（レポートのおかげで）などと、良い評価を受けています。これからもさらに高みを目指して勉学に励み、実践につなげたいと思います。
- ・看護師の専門学校の時の学び、知識のつめ込みとは全く違い、自分で知識としてインプットした事を深く考え言語化するという訓練をしたことにより、職場でも具体的に表現できるようになった。
- ・社会福祉原論をはじめ、各分野の学習を通じて福祉の本質を改めて考える機会を持つことができたのは貴重な体験であったと思います。
- ・レポート作成のために本や資料などを多く読みました。知識が増えていくと学ぶことが楽しくなっていました。
- ・途中で嫌になりやめるのだろうと自分では思っていたのですが、楽しみながら卒業することができました。
- ・社会福祉士として仕事を進めていく中で心理学を勉強したいという気持ちが強くなり、入学に至った。福祉の職に就くものには心理学は必須だと思った。

【目標を見失わずに学友とともに努力しよう】

- ・最初は、続くかな……と不安の中始めましたが、友達ができて相談できたり、友達と会う楽しみがあってあきらめずに最後まで学ぶことができました。本当に楽しく通うことができました。
- ・6年間かけて卒業でしたが、最後まであきらめず続けて良かったです。今後も大学で学んだことを職場や家庭でいかしていきたいと思います。
- ・通信教育部での学びの中で、多くの方々と知り合うことができました。県内外、そして様々な職業の方たちと語り、学ぶことができたということは、私にとって一番の財産です。
- ・ただ資格取得に向けた通過点ではなく、福祉というものを大切に丁寧に深く学べる場所で、福祉に携わっていく上での自分のあり方を考え、見つめ直す良い時間を与えてくださったことにも心から感謝しています。
- ・スクーリングでは、先生方がわかりやすく教えていただき、毎回多くのことが学べました。レポート提出に苦勞しましたが、先生方の助言で、理解する

ことができました。仕事との両立は大変ですが、学ぶ喜びを感じることで、前進できたかと思います。

【人生のなかでの大学卒業ということ】

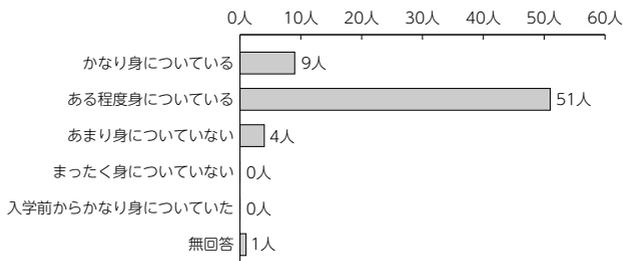
- ・短大卒という学歴にコンプレックスをもっていたこともあり、卒業したことで自信を持つことができた。
- ・私は10年という長い年月を費やしましたが、卒業できました。在学中の方もあきらめる事なく学習して卒業をかちとって下さい。応援しています。
- ・卒業研究をほぼ一年、自宅でのほとんどの時間を使い、頑張りました。卒研にとりくんで倍以上濃い学生経験をしました。ありがとうございました。
- ・私は、目標があって、大学に入りました。しかし、知的障害をもつ息子が当時、中学2年生で大変な時期ということもあり、テキストも読まずスクーリングに出席しないレポートは書かない……ことが続きました。正直、中退も考えました。しかし、息子が障害者枠で就労が決まり、親子とも落ち着いた頃、改めて大学に入学した理由、目的を思い出し、3年前より卒業に向けて必死に勉強してきました。途中でやる気を失いかけましたが、9年かけて卒業することができました。元々勉強ができない私でも「あきらめない力」があれば、卒業できるのだと実感しました。

7 【自己評定による「学士力」の達成度】

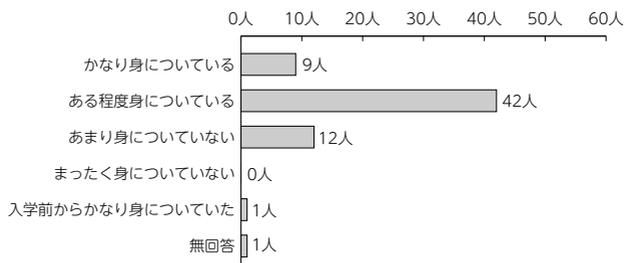
自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びをとおして、現在あなたが身につけていると思うもので、一番あてはまると思うものを一つ選択してください。

① (社会福祉学科の方) 社会福祉の意義と機能に関する基礎的知識。

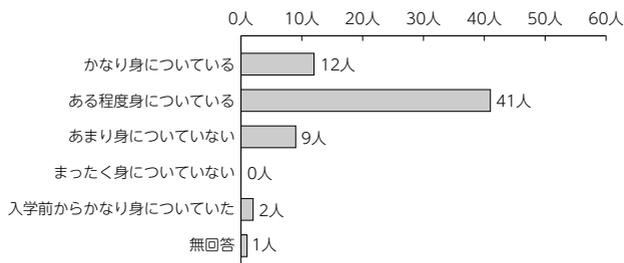
(福祉心理学科の方) 人の思考・感情・行動の原理や法則、理論について説明できる心理学の基礎的知識。



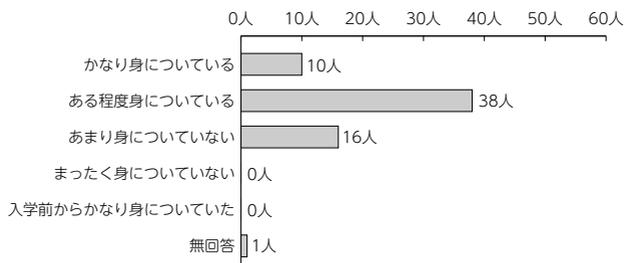
②さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的な問題への支援に利用できるなど現場でいかせる実践的知識。



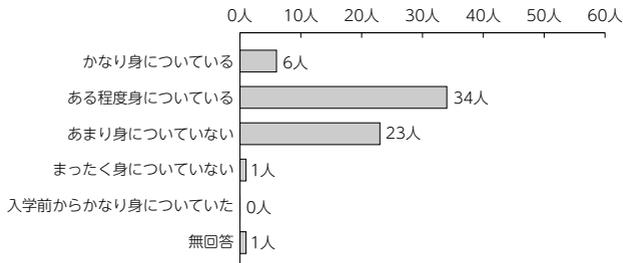
③多様な価値観を理解し、自己とは異なる意見や考え方をもち人々とコミュニケーションをとる力。



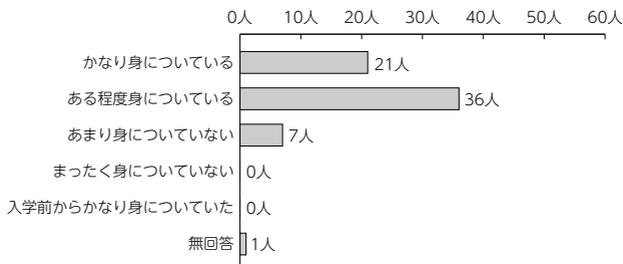
④求められるレポートや課題の趣旨を理解し、必要な情報を精査・選択し、わかりやすい文章や言葉で他者に伝える力。



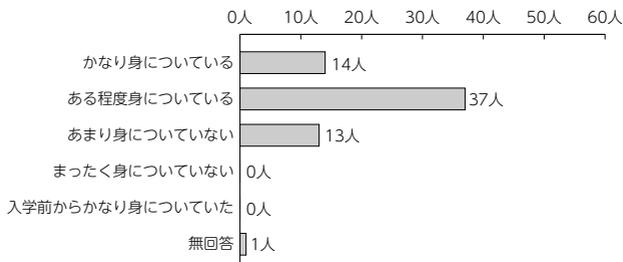
⑤根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力。



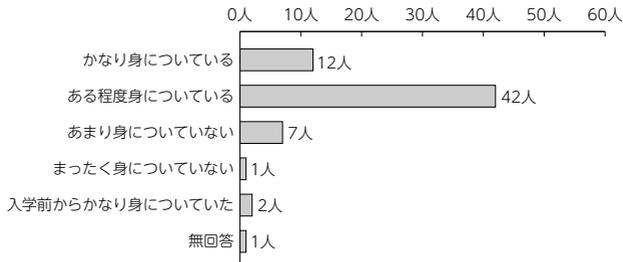
⑥参考図書やインターネットなどを用いて必要な情報を収集する力。



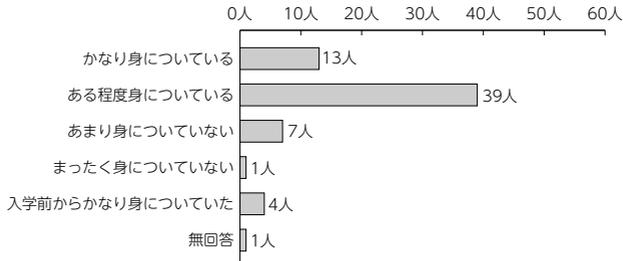
⑦自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力。



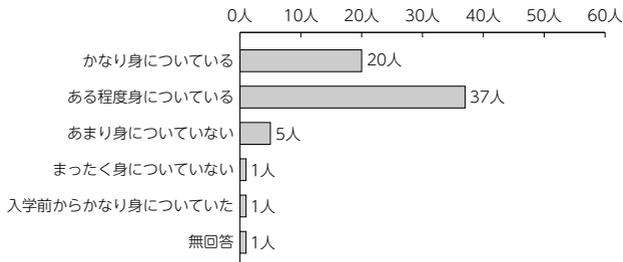
⑧時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力。



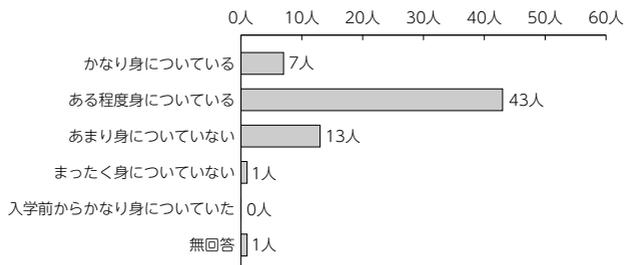
⑨他者に配慮しながら、目標と問題を共有したり、協調・協同して行動できる力。



⑩人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢。



①所属学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力。



紙数の関係で、すべては掲載できませんでした。よりくわしい結果は、通信教育部ホームページ「卒業者アンケート」欄（右側下部にリンクあり）から閲覧可能です。ご利用ください。

アンケートにご回答いただいた9月卒業生の方に、厚く御礼申し上げますとともに、今後のご健康とご活躍を願っております。